

令和7年6月27日

佐賀県県民協働課長 様

住所 佐賀県西松浦郡有田町大樽2-3-21
団体名 特定非営利活動法人アリタカラ
代表者職・氏名 代表理事 上野菜穂子
電話番号 0955-29-8929

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和6年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第1項の規定により提出します。

令和6年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

- 1 団体名 : 特定非営利活動法人アリタカラ
- 2 事業実施期間 : 令和6年4月1日 から 令和7年3月31日
- 3 事業の背景 (※事業計画書から転記)

■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像

おもしろい未来を描くことができる社会をつくる。各個人が好きなことを見つけたり、互いに学び合ったり、チャレンジできたりする機会を提供する。

4 事業の成果

①県民の便益にどのようにつながったのか

有田町に空き物件を所有している方や空き物件の活用希望者からの空き物件相談対応、有田町に移住を検討している方々の移住相談対応を行った。専門家とも連携しながら、適切な情報提供を行うことで、空き物件活用数や移住者数の増加に寄与した。

空き物件を活用した「灯すラボ実験室A（以下、実験室A）」及び「灯すラボ実験室B（以下、実験室B）」の運営・管理を行った。実験室Aは、コリビングスペース（他拠点居住者・中期滞在者向けのシェアハウス及びコワーキングスペースの機能を有する）として運用を行い、年間延べ10名が利用した。実験室Bについては、子供の居場所づくりの取組みとして「灯すラボアフタースクール」を通年で週1回開催した。また、アフタースクールで学んだことを更に伸ばす場所として「灯すラボプログラミングスクール」を開講し、2名の小学生が週1回参加した。このようなプログラムを実施することで、地域内外の人の交流や仲間づくりに貢献することができた。

また、「クリエイティブマガジン 灯すラボ」（ウェブサイト）の企画・運営、記事を公開し、地域で自分なりの面白さを見出し暮らしている人たちを紹介した。

うちやま百貨店プロジェクトは、内山地区の空き店舗活用イベントから、常設17店を繋ぐネットワークへと移行し、常設店の持続的な経営をサポートし、新規出店者を増加させる取組みとして、新たなスタートを切った。

ちゃわん最中プロジェクトは、地域のお土産品として「ちゃわん最中」の販売を行った。また新商品開発（有田焼作家や窯元による豆ちゃわんの制作3件、地域クリエイターによる包装紙の制作3件）に取り組み、地域でもものづくりに関わる人たちとの関係性を作った。11月と2月には、うちやま百貨店と連動させ、空き店舗を活用し、ちゃわん最中の期間限定店舗を開設した。SNSでの発信、新聞・テレビ等のマスメディアで広報を行った他、東京、福岡で開催された展示会に出展し、有田・佐賀のPRを行った。

②佐賀から広がった社会像（該当する活動のみ） □

灯すラボやちゃわん最中といった枠に捉われない事業を通じて、新たな挑戦をする人たちの背中を押し、応援する地域社会を佐賀から発信した。

- 5 寄附金活用事業実績 : (別記1)
- 6 次年度繰越額活用見込み : (別記2)
- 7 寄附金活用額 : (別記3)

(別記1) 寄附金活用事業実績

○寄附金を活用して行った事業 (GCFを行った場合は、GCF名とその内容を記載)

事業名	具体的な事業内容 ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所	事業費の 支出金額 [単位: 円]	うち寄附金 活用額 [単位: 円]
空き物件相談窓口業務	①空き物件活用の促進 ②有田町に空き物件を所有している方や空き物件の活用希望者 ③相談窓口を設け対応を実施する。必要に応じて、不動産業者や建築業者とも連携の上、活用可能な物件の紹介や改修等の支援を行った。	①メール・電話対応: 毎日 窓口: 毎週月～金曜 ②灯す屋事務所	1,018,203	570,753
空き物件活用事業 (灯すラボ実験室A/B)	①町内外人材の交流促進、関係人口の増加 ②有田町外在住の他拠点居住者 ③テレワークおよび居住ができるサービスを提供する。今年度は灯すラボ実験室Bを整備し、講座開催などを通じて有田町内外の人材交流を促し、新たな企画や商品などを生み出していくサポートを行った。	①通年 ②有田町内山地区	6,109,221	4,072,813
空き物件活用イベント企画・運営	①新規開業者の支援 ②新規開業・出店や新商品開発等の新しい取り組みを希望する者 ③有田町内山地区でうちやま百貨店を開催した。	①通年 ②有田町内山地区	7,248,337	5,268,337
クリエイティブWEBマガジン事業	①有田への興味関心を持つ人を増やし、オンラインおよび対面での交流促進 ②有田町外在住のクリエイター ③有田町内で活動する事業者等について伝えるクリエイティブWEBマガジン (WEBメディア) を運営した。	①通年 ②灯す屋事務所	2,153,725	2,153,725
移住相談窓口業務	①有田町への移住希望者がスムーズに移住できるように支援すること ②有田町に移住を希望している方 ③相談窓口を設け、有田町の情報、あるいは住まいや仕事の情報等の聞き取り対応を行った。	①メール・電話対応: 毎日 窓口: 毎週月～金曜 ②灯す屋事務所	3,230,588	2,776,042
ちやわん最中事業	①様々なクリエイティブ関係人口の増加 ②佐賀県内外のクリエイター ③ちやわん最中の企画・販売を行った。	①通年 ②灯す屋事務所	7,248,337	2,986,169
計			27,008,411	17,827,839

(別記2) 次年度繰越活用見込み

○次年度に繰り越した寄附金の活用見込み

事業名	具体的な事業内容 (予定) ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所 (見込み)	事業費の 支出見込み額 [単位:円]	うち寄附金 活用見込み額 [単位:円]
ちやわん最中事業	①地域資源の価値や魅力を引き出し、次世代に繋いでいくため ②町民、観光客、町内外の事業者 ③地域の入り口、及び人と人をつなぐツールとしての「ちやわん最中」の企画・運営、ちやわん最中販売店の開設	①通年 ②有田町内山地区	9,100,000	1,200,000
うちやま百貨店事業	①地域住民が主体となって行う地域づくりを支援するため ②町民、観光客、町内外の事業者 ③有田町内山地区の店舗を繋ぐネットワーク「うちやま百貨店」の構築・拡大	①通年 ②有田町内山地区	2,600,000	1,841,947
文化経済好循環創出事業	①文化と経済の好循環を生み出し、持続可能な地域社会を実現するため ②町民、観光客、町内外の事業者、アーティスト ③有田町における文化事業の企画・広報支援	①通年 ②有田町	1,600,000	600,000
計			13,300,000	3,641,947

(別記3) 寄附金活用額

【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額 … ① (=A+B)		27,407,693
(内訳)	本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額 … A	16,566,296
	本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分	16,107,500
	前年度控除額(県事務経費)還付分	458,796
	前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額 … B	10,841,397

【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額… ② (=a+b)		23,765,746
(内訳)	事業に活用した寄附金額 … a	17,827,839
	ふるさと納税の募集に要した費用の額 … b	5,937,907
	返礼品等の調達に係る費用	4,962,910
	返礼品等の送付に係る費用	550,452
	広報に係る費用	190,854
	事務に係る費用	233,691

佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額 … ③ (=①-②)	3,641,947
-------------------------------------	------------------

■直近の収支報告書掲載箇所(ホームページURL等)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/041000487>